

資料1 令和2年度 各区の取組について

目次

堺区.....	1
中区.....	4
東区.....	6
西区.....	9
南区.....	13
北区.....	16
美原区.....	19

令和2年度 各図書館の取組状況 (堺区)

今年度の目標

新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、以下の目標を達成します。

・中央図書館として、以下の目標に取り組みます。

1. 市街地の新しいサービス拠点として、堺東駅前にサテライト図書サービスコーナーを整備し、令和3年4月からの開館をめざします。
2. 非来館型サービスの拡充として、インターネットなどを用いた動画配信等、情報提供の仕組みを構築します。

・堺区の図書館として、以下の目標に取り組みます。

1. 直接的な学校支援が不可能となっているため、図書館見学を動画で実施します。
2. 郷土資料展および記念講演会を実施します。動画配信による参加も含め、参加者目標を60人とします。

定量的指標	全体	区民千人当たり
貸出点数	447,115 点	3,018 点
予約点数	26,651 点	180 点
レファレンス受付件数	17,314 件	116.86 件
協力貸出点数(借受)	867 点	6 点
うち大阪府立図書館以外からの借受	540 点	4 点

*堺区人口 148,164 人

(令和2年4月1日現在)

*数値は令和2年12月末

堺市駅前分館を含む

取組結果

・中央図書館としての取組結果

1. 市街地の新しいサービス拠点として、堺東駅前にサテライト型の図書サービスコーナー「図書館カウンター堺東」を整備し、令和3年4月からの開館に向け準備をすすめています。



2. 非来館型サービスの拡充として、講演会、講座等の動画をインターネット(youtube)で配信できる仕組みを構築しました。郷土資料展記念講演会およびボランティアステップアップ講座の動画を配信しました。また、図書郵送サービスモデル実施事業(有料)を1月29日より開始しました。

3. その他

イベントの開催が難しい中、子ども読書活動推進事業として、12月13日に堺っ子読書フォーラム「学校図書館～本と出会う場所～」を、感染対策を十分に実施しながら開催しました。中学校学校司書の取組についての実践報告のほか、清教学園中・高等学校教諭である片岡 則夫氏を講師に迎え、「おためし読

書」についてお話いただきました。児童・生徒が公共図書館へ来館することが難しくなっている状況下、学校や学校図書館でできる気軽で楽しい取組として好評でした。

堺区の図書館として、以下の目標に取り組みました。

1. 直接的な学校支援が不可能となっている中、学校への団体貸出については、休館期間中も途切れず実施しました。夏休みが短く、ゆっくり本を選ぶ時間がない児童・生徒に向け、夏休みおすすめのブックリストを作成し、HP 等に掲載しました。図書館見学は、図書館に来館することが条件的に難しい学校もあることから、動画でも実施できるよう、準備をすすめています。また、おはなし会等の定例行事が休止となり、子どもが絵本やおはなしに触れる機会が減っていることから、「おうちでおはなしを楽しもう」と題し、ミニブックフェアを2月までに23回実施(3月末までで25回)したほか、未知の本に触れるワクワク感を提供できるイベントとして「図書館海賊からの挑戦」「ほんのくじびき」を実施しました。くじを引くという行為が子どもの好奇心を刺激したようで、ひとり参加者が出るとその後何人かが立て続けに参加するなど、低年齢層を中心に43組の親子連れに参加していただきました。クリスマスの時期には、「クリスマス絵本ブックフェア」と並行して、1日1冊のクリスマス絵本をtwitter や子育て応援アプリに掲載するなど、絵本の情報発信に努めました。
2. 郷土資料展「浜寺物語」および記念講演会「浜寺物語 阪神間モダニズムと阪堺文化」(11月29日、講師:橋爪紳也氏)を実施しました。郷土資料展への来場者は519人、講演会は感染拡大防止のため、定員を従来の半分以下とし、当日参加者は25人となりました。しかし、今回初めて講演会の動画を作成し、後日応募者全員の49人に視聴していただくことができました。



図書館海賊からの挑戦(子ども室)



郷土資料展記念講演会

新型コロナウイルス影響の各館の状況



予約資料貸出臨時窓口(中央図書館)

〔予約資料の貸出〕

臨時休館中、5/17～24の期間、臨時窓口を設置し、貸出を行いました。

中央図書館はロビーにて、堺市駅前分館はエントランスにて行いました。

形式等を変更して実施した行事・イベント等

1. おはなし会等の定例行事が休止となり、子どもが絵本やおはなしに触れる機会が減っていることから、中央図書館子ども室で「おうちでおはなしを楽しもう」と題し、ミニブックフェアを2月までに23回実施(3月末までで25回)しました。未知の本に触れるワクワク感を提供できるイベントとして、堺市駅前分館で、「夏のおたのしみセット」、子ども室で「図書館海賊からの挑戦」「ほんのくじびき」を実施しました。



夏のおたのしみセット

2. 中央図書館でのおはなし会については、換気、消毒、検温、椅子の設置で参加者同士および実演者との距離をとるなどの工夫をし、10月、12月、3月にそれぞれ1回ずつ実施しました。実演はマスクを着用した職員が行い、距離をとっても見やすい大型絵本の読み聞かせをプログラムの中心とし、手遊びや参加者の唱和がないプログラムとしました。
3. 堺図書館サポーター倶楽部創立20周年記念事業を実施。記念講演会『ベストセラー作家が語る図書館「超」活用術—堺市民として—』は、講師に奥野宣之氏を迎え、堺区の図書館でサポーターとして本の修理や書架整理などの活動をしている方を対象に、実施しました。当日の参加者は10人でしたが、この講演会を動画として録画し、各区域館で、各館で活動しているサポーターが視聴できるようにしました。また、各図書館のサポーターの活動をパネルにまとめ、中央図書館を皮切りに、各図書館で展示しました。

令和2年度 各図書館の取組状況 (中区)

今年度の目標	
新しい生活様式に対応したサービスの提供に重点的に取り組み、新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら以下の目標を達成します。	
1. 職員全員が危機管理意識を共有するための研修等を実施し、各種のリスクに備えます。	
2. 子ども向けの定例行事再開の実施方法を検討し、児童サービスの停滞を回復します。	
3. 中区役所や教育センターなどの関係部局と連携を図り、協力して事業や相互の認知度向上のための取組を行います。年間5回以上。	

定量的指標	全体	区民千人当たり
貸出点数	230,071 点	1,885 点
予約点数	11,344 点	93 点
レファレンス受付件数	2,941 件	24 件
協力貸出点数(借受)	301 点	2 点
うち大阪府立図書館以外からの借受	125 点	1 点

*中区人口 122,022 人
(令和2年4月1日現在)
*数値は令和2年12月末
東百舌鳥分館を含む

取組結果

- イベントの実施について、対策を行った上で利用者が楽しめる方策について検討・試行を行いました。また館内整理日の職員研修として避難訓練を行い、火事や地震など災害時の避難経路・消火設備の把握を行いました。
- 子ども向けの行事が中止になるなか「親子いっしょにえほんひろば」に子育てひろば3箇所から申し込みがあり、職員が出向いて絵本の読み聞かせを行い、乳幼児期からの親子での絵本の楽しみ方などの啓発を行いました。
- 外部との連携は昨年度に続き、中保健センターと協力し健康ミニブックフェア(年7回)を行い、ブックリストを作成・配布しHPへも掲載しました。中区役所企画総務課の「子どもの読書環境の充実事業」昨年度の入賞作品のPOPの展示(7月・8月)に協力しました。また、中基幹型包括支援センターとは認知症ブックフェアとパネル展示(9月)・介護予防のパネル展示(10月)を行いました。併設の「平和と人権資料館」の企画展に合わせて関連資料の展示とパネルを展示(11月・12月)し、相互の事業PRに貢献しました。



うきうきルーム(子育てひろば)



保健センターブックフェア



介護予防パネル展示



平和と人権資料館展示

新型コロナウイルス影響の各館の状況

〔開架資料の配架〕

- ・感染予防のため返却資料は24時間事務室に留めてから配架を行っているため、置き場が不足し、ブックラックやコンテナ等に仮置きしました。
- ・来館者同士が密にならないよう、閲覧席の間隔を開けたため座席数が減少し、会議机で仮の閲覧席を一部設定しました。
- また、閲覧机には飛沫防止のためにパーテーションを設置しました。
- ・インターネット閲覧端末の利用回数を制限したことで、新たな利用者が増えました。

形式等を変更して実施した行事・イベント等

1. 「おはなし室」を使った定例での「おはなし会」が開催できないため、2020年10月～2021年1月の間に試行的「おはなし会」を4回開催しました。

ソフィア堺図書館棟1階多目的スペースを使用し、感染予防のため、参加者の定員を減らした上、検温・連絡先の把握、消毒や換気を徹底して行いました。



2. 「えほんおたのしみパック」の貸出(予定)

乳幼児から小学生低学年向けの絵本を選定し、福袋のように書名が見えない形で貸出。2021年3月20日・21日に実施。絵本の選定にあたっては、読み聞かせ等ボランティアグループおよび子ども司書の推薦を受ける形で集めました。詰め合わせや飾りつけには、図書館サポーターの協力も得ました。



令和 2 年度 各図書館の取組状況 (東区)

今年度の目標	
新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底し、市民のくらしに役立つ資料・情報の提供に重点的に取り組み、以下の目標を達成します。	
1. 魅力ある棚づくりのため、ブックフェア等の取組を推進します。	
2. おはなし会・課題解決支援講座などの行事について、従来のやり方にとらわれず、新しい生活様式の下での開催を模索し、実施します。	

定量的指標	全体	区民千人当たり
貸出点数	245,585 点	2,905 点
予約点数	17520 点	207 点
レファレンス受付件数	4611 件	54.5 件
協力貸出点数(借受)	369 点	4 点
うち大阪府立図書館以外からの借受	225 点	3 点

*東区人口 84,541 人

(令和 2 年 4 月 1 日現在)

*数値は令和 2 年 12 月末

初芝分館を含む

取組結果

1. 魅力ある棚づくり

- ビジネス書コーナーの新刊コーナー、ブックフェアコーナーのレイアウト変更と拡張を行いました。また、10月よりHPで「ビジネス書コーナー 新着資料一覧」の公開を始めました(月初めに更新)。
- ティーンズコーナーの面展(表紙見せ)を増やすなど、レイアウト変更と拡張を行いました。登美丘高校との連携によるPOPを利用した展示は今年度も継続し 12 月に入替を実施、新たに登美丘高校図書委員会発行「とみかぜ」(年3回)の掲示と関連資料の展示を始めました。
- 初芝分館で地域資料コーナーの整備を行いました。
- 貸出冊数前年度比では、ビジネス書コーナー(東)は 78.5%、ティーンズエリア(東)は 75%、地域資料コーナー(初芝)は 85%でした。いずれも全体の減少率よりは低くとどまっています。
- 定例のブックフェアに加え、東区保健センターとの連携で 4 回のブックフェアを行いました。また、感染拡大防止のため使用していない閲覧スペースを利用して、「年末年始はおうちで読書」企画の一つとして「今こそ名著・大作にチャレンジ」と題し、200 冊程度を展示しました。



ビジネス書コーナー



ティーンズコーナー



「おうちで読書」ブックフェア



2. 新しい生活様式下での行事開催

➤ 東図書館のおはなし室は窓がなく、換気も難しいため、おはなし会など定例の行事はなかなか開催することができませんでした。10 月に閲覧室内じゅうたんコーナーで感染対策を行いながらおはなし会を試行的に実施。3 月からは東図書館・初芝分館ともに定例化に向け再開する予定です。

➤ 実施が難しい乳幼児向けの行事の代替として、「おうちで赤ちゃん絵本の会」と題し、絵本をセットにして貸し出すサービスを始めました。11 月に試行実施を 2 回、12 月以降月に 1 回、各回 12 セットを準備して希望者に貸出を行っています。

バッグは、消耗品費で不織布バッグを 30 枚(3 色)購入し、動物のイラストを貼りました。袋は本とあわせて返却いただき、イラストを貼りかえて再利用しています。本のほかに、ブックリストとよみきかせのアドバイスも入れました。

➤ 「年末年始はおうちで読書」企画の一つとして「書庫で本を選んでみよう」を実施。8 名の参加がありました。3 月には「図書館の使い方講座」として OPAC について学んでいただく機会を設ける予定です。



じゅうたんコーナーでおはなし会



赤ちゃん絵本を 5 冊セットして貸し出しました

3. その他

昨年度から実施している学校図書館チーム支援事業については、年度当初は中止していましたが、区内 4 校の 3 年生を対象にのべ 44 時間(2 月末現在)の訪問を実施しました。感染拡大防止のため、図書室を使わず教室で行うこともあり、全員が授業を楽しむため複本使用やプログラムの変更を行いつつ実施しました。



新型コロナウイルス影響の各館の状況

(対面朗読サービス)

利用者は 1 名だが、定期的に東図書館対面朗読室を利用されている方がいる。対面朗読室は換気ができないため利用できず、会議室利用の条件のもと(6 名以下、1 時間以内等)でサービスを受けてもらうこととした。会議室利用開始前(6 月 30 日以前)や、緊急事態宣言時は視覚・聴覚障害者センターを案内している。なお、対面朗読用のパソコンが予算措置されており、配備後は対面朗読室を利用していただく予定。

(閲覧席)

- ・東図書館はそもそも席数が多く、個別ブースがあるため、自習目的の利用が多く、「自習席は使えますか」という問い合わせが非常に多い。
- ・長期滞在や、開館前の長蛇の列(閉鎖空間)を回避する手段がなく、机ありの席を2割以下に減らし、自習禁止としている。自習目的の利用者がいないため、来館者数の減少率は他館と比べても大きい。
- ・椅子のみの席は当初間隔をあけ、5割程度に減らしたが、満席状態が続いたため、9月2日以降は壁沿い等に椅子を新たに設置して対応した。

(利用状況概数 * 令和元年度総数の3/4の数値、令和2年度4月～12月の数値を比較)

- ・新規登録:7割程度に減少
- ・予約受付:7割程度に減少(うち、館内OPACでの予約受付:6割程度に減少)
- ・貸出点数:7割程度に減少(うち、団体貸出点数は93%と微減)

形式等を変更して実施した行事・イベント等

- おはなし会
換気の難しいおはなし室ではなく、じゅうたんコーナーでのおはなし会を10月に試行実施、3月以降継続的に実施予定
- 乳幼児向けおはなし会
代替サービスとして、11月よりブックパックの貸出を開始
- 「年末年始はおうちで読書」
・「書庫で本を選んでみよう」
・個別ブースを利用したブックフェア「今こそ名著・大作にチャレンジ」
- 読書会、ボランティアの例会などは、館内整理日に閲覧室を利用して実施

年末年始は おうちで読書

おうちで読書応援企画1 今こそ名著・大作にチャレンジ
館内の読書席(個別ブース)に名著・大作をたくさん集めました
ご自由にお選びいただけます。
2020年12月27日(日)まで

おうちで読書応援企画2 書庫で本を選んでみよう
普段は入れない書庫で、読みたい本を探していただけます。
★入っていただけるのは小説の書庫です
2020年12月22日(火)～25日(金)
13時、13時半、14時、14時半
各回先着10名(高校生以上に限ります)
時間になったら、返却カウンター前に集まってください

12月28日(月)～1月4日(月)まで、図書館は休館します

12月15日(火)～12月27日(日)の間、貸出期間が3週間となります

堺市立東図書館

令和2年度 各図書館の取組状況 (西区)

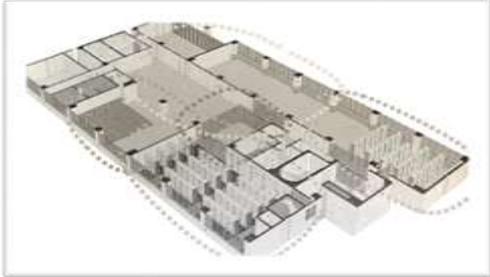
今年度の目標	
・西図書館の特色を活かした情報提供と図書館機能拡充に重点的に取り組み、以下の目標を達成します。	
1. 「西区子育て・教育環境整備事業」により、区民の学びや活動を支える資料や場を充実させます。	
2. 地域や専門機関と連携した資料収集や相談事業、区民の身近な場での情報提供を行います。	
3. 新しい生活様式に対応した環境改善や図書館活動の再構築を行います。	

定量的指標	全体	区民千人当たり
貸出点数	203,998 点	1,511 点
予約点数	10,929 点	81 点
レファレンス受付件数	2,250 件	16.66 件
協力貸出点数(借受)	316 点	2 点
うち大阪府立図書館以外からの借受	233 点	2 点

*西区人口 135,019 人

(令和2年4月1日現在)

*数値は令和2年12月末

取組結果	
<p>1. 西区子育て・教育環境整備事業として、書庫増床、多目的会議室の活用による読書・学習環境の充実を図ります。(令和3年夏プレオープン予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援資料や地域資料を中心に約5万冊収容可能な書庫の増設を実現し、学校・学校図書館職員、地域活動を支援する環境整備を行います。 ・25人から100人収容可能な会議室とオープンなラーニングスペースを設け、ボランティア活動、各種事業に利用可能な場を設置してあらゆる年代が図書館を主体的に活用する環境を整備します。 ・プレスクールゾーンを設置し子どもと一緒に安心して集う場を整備するとともに、授乳室、対面朗読室も新たに設置して、すべての人が快適に利用できる空間を提供します。 	<p>参考図面(予定)</p> 
 <p>まちの保健室</p>	<p>2. 専門機関、専門家と連携して身近な地域で事業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府看護協会と共催で健康相談事業「まちの保健室」を9月から月に1回実施しました。「ミニおはなし会・健康相談会」として安心して親子で参加できる機会となるとともに、改装するフロアでの定期的な健康相談事業に繋げていきます。 ・総合医療センター内のがん相談支援センター主催のオンライン講座「ほのぼのカフェ」において、テーマにそった資料の紹介を行いました。 ・学校や地域会館での保健センターのがん検診や脳トレ教室において情報提供をしました。 ・「セカンドステージ応援コーナー」を設置し、医療・福祉関係機関と連携して資料を充実させてきた取組について、全国図書館大会和歌山大会の場で報告し、人材育成を行いました。

・小学校への認知症学習で地域包括支援センターに資料提供を行い、図書館で福泉小学校3年生による学習成果の展示を行いました。

3. 新しい生活様式に対応した環境改善を行いました。

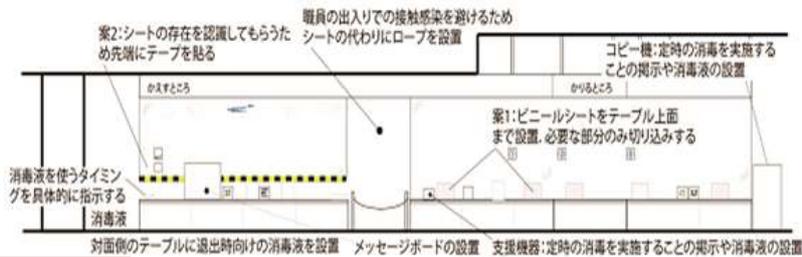
・大阪大学の松原茂樹氏の協力を得てオンラインツールによる「キャプション評価」を行いました。建築や公衆衛生の専門家による提案を受けて、椅子や展示棚の配置見直し、カウンターの感染予防、接触回避での情報提供(QRコード、オンライン誘導)など、感染防止の観点を中心とした新しい生活様式に対応した環境改善を行いました。

*キャプション評価(環境評価手法) 施設を利用する人がそれぞれ気になる場所や物を写真に撮り、それらにキャプション(説明)を付けることにより、その場所(施設)の評価をする。参加・行動型の調査方法

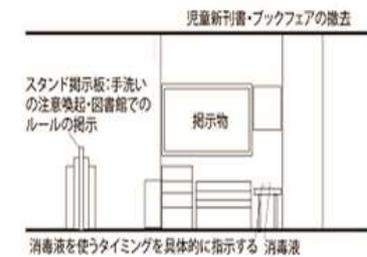


認知症キッズサポーター養成講座学習の成果の展示

利用者通路側から見た展開図



利用者通路側から見た展開図



提案内容



提案を受けて改善したカウンター状況



館内での感染症対策の明示

新型コロナウイルス影響の各館の状況

・利用状況について（前年度6月～12月の数値との比較）

貸出点数 84% 貸出者数 85% 来館者数 80%(滞在のみ73%)

児童書 赤ちゃん絵本(101%)、ちしきのほん(104%)と微増。むかしばなし絵本は(70%)に減少。

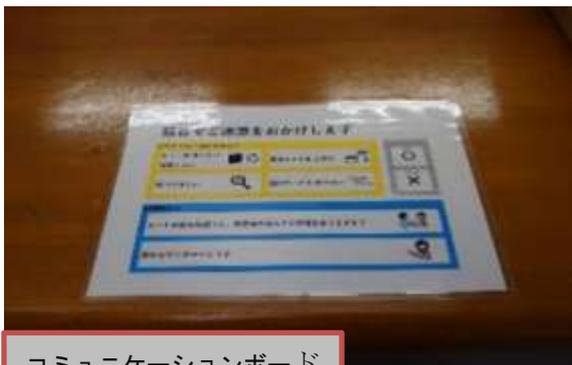
これらは感染を警戒して保護者が短時間で選びやすい(赤ちゃん絵本コーナー)ことや、読ませたい本(ちしきのほん)を選んだことと、おはなし会が実施出来なかったことや、じゅうたんコーナーへの出入りを控えるケースが原因かと考えています。状況が変化しないようであれば、配架場所を検討していきます。

年齢別 40～45歳 5歳～10歳の年齢層の利用が減少。児童だけの利用や保護者と児童での利用が多い世代が減少傾向でした。

団体貸出 「浜寺公駅駅舎(カフェ・ライブラリー)」「視覚聴覚支援センター内ひといき」等、地域読書拠点施設の活動停止により減少しています。

予約・レファレンス

予約受付件数、対前年度比39%減少。レファレンス受付件数、対前年度比53%減少。感染状況だけではなく、改修工事の騒音も影響していると考えられます。カウンターでの会話が困難な状況への対策として「コミュニケーションボード」による案内や対話支援機器「コミュニケーション」を借用し対応の工夫を行いました。(来館者アンケートの満足度については昨年度3.69から今年度3.70へ微増)



コミュニケーションボード



対話支援機器「コミュニケーション」

形式等を変更して実施した行事・イベント等

・児童対象行事について

従来実施していた「赤ちゃんといっしょ」「あつまれ！絵本のお部屋♪」の開催が中止されている中、令和2年10月に0～1歳児対象、11月に2～3歳児対象の読み聞かせ行事として感染対策を行い、事前申込制で実施しました。密を避けるため、おはなし室を使用せず、じゅうたんコーナーでソーシャルディスタンスに留意し、「まちの保健室」と併せて実施しました。大阪府看護協会から看護師、保健師を派遣していただき、乳幼児に特化した家庭での感染予防対策のおはなしや健康相談も交えることにより、親子で行事に参加されている方々に安心感を持っていただけた様子でした。



じゅうたんコーナーをマットで区切って密を避けて実施



椅子の配置を工夫し密を避けて実施

じゅうたんコーナーの使用について
キャプション評価による提案図

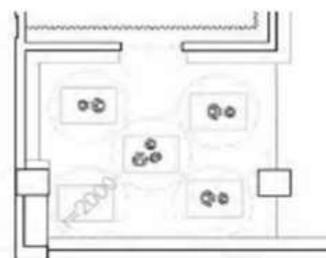
環境改善の基本方針

部屋の条件：あんよができない月齢から2歳くらいまで、赤ちゃん絵本を中心に配架椅子の読み合いスペース、靴を脱いで利用
再開期・遊合期：滞在はせず図書の取り出しのみ、利用方法・注意喚起を看板に設置、子どもが理解できる表現をする
復活期：5組までの滞在を認める。滞在中はレジャーシートを持参してもらい、お互い十分な距離を保つ（別紙参照）

- ☆物理的要素：参加者持参のレジャーシート（非固定的要素）、マットの撤去
- ☆人的要素：親子5組まで
- ☆伝達的要素：子どもが理解できるようイラストやひらがなで表現
- ☆運営的要素：-
- ☆バーチャル的要素：ホームページでレジャーシートを持参することを告知



再開期・遊合期



復活期

・オンラインツールによるキャプション評価の実施について

施設改修に対する市民意見聴取のイベントとして、誰もが快適に過ごせる空間づくりに向け、若年性認知症のご本人やご家族、障害者や高齢者、子育て層の方など、市民参加での「キャプション評価」ワークショップを予定していましたが感染防止のため実施せず、感染対策の要素を盛り込んで、オンラインツールによるキャプション評価を行いました。（再掲）

この評価を参考に、利用動線が交差する狭い場所の書架移動、閲覧席の配置見直し、館内案内図による消毒液設置場所の提示など、館内環境改善を実施しました。

令和2年度 各図書館の取組状況 (南区)

今年度の目標	
新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底し、「新しい生活様式」を踏まえた図書館サービスに取り組みます。あわせて策定予定の「中央図書館基本指針」に基づき、区民視点に立ったサービス向上に取り組みます。	
1. 日本図書館協会の感染拡大予防ガイドラインに基づき、区の図書館に求められる役割をスピード感をもって果たします。	
2. 区のIT化を推進する「スマート区役所」の取組と連携しながら、市の施設予約システムに図書館ホール・集会室の受付を搭載するなどの、非来館型サービスの取組をすすめる。	
3. 特色ある資料では、利用対象を明確化して、外国人市民が日常生活の中ですぐに役立つ資料を収集します。	

定量的指標	全体	区民千人当たり
貸出点数	440,442 点	3,152 点
予約点数	35,344 点	253 点
レファレンス受付件数	9,773 件	69.95 件
協力貸出点数(借受)	1,046 点	7 点
うち大阪府立図書館以外からの借受	668 点	5 点

*南区人口 139,716 人

(令和2年4月1日現在)

*数値は令和2年12月末

梅分館、美木多分館を含む

取組結果

- 1 ボランティア団体と調整及び意向を確認し、9月5日より検温、換気、時間短縮等市のイベント開催制限に従ったおはなし会等を全館に先駆けて試行、再開。11月15日にはおたのしみフェアとして本市在住の画家・絵本作家 H@L さんの原画展・ワークショップ、堺歴史文化市民講座(作家・山本巧次さん講演)等を実施。南図書館ホール・集会室は、ガイドラインに従って、早期開室を行いました。(集会室5月26日、図書館ホール6月2日)



ワークショップ「しりとり絵本をつくってあそぼう」



「山本巧次さん講演会 阪堺電車 177 号の追憶」

- 2 ICT イノベーション推進室との協議を行ったうえで、IT 調書を作成し、令和3年度予算要求資料を提出。オンラインでの図書館ホール・集会室の予約受付は、コロナウイルス対策としても有効であり、なによりも自治体 DX(デジタル・トランスフォーメーション)・図書館 DX 推進の第一歩となる取組です。他施設及び他自治体ではすでに実施されているところもあり、早期に実現する必要があると考えています。

- 3 市の施策である多文化共生に資する取組を強化するため、多文化資料情報コーナーの目的を外国人市民の課題解決支援であることを再確認し、日本語を学ぶために役立つ資料(『にほんご多読ボックス』など)を約 290 点収集、今後 HP や SNS での PR、国際交流プラザ等への情報提供を予定しています。

収集した資料の一部→



新型コロナウイルス影響の各館の状況

〔予約資料の貸出〕

5/17～24 の期間の予約資料貸出について、市民センター1階入り口に臨時窓口、駐車場にドライブスルー方式の窓口を設けて対応しました。

事前に貸出手続きをして梱包しておき、カードの照合と受け渡しのみ行うことで、短時間で対応できるようにし、感染のリスクを低減しました。ドライブスルー方式の窓口では、利用者が乗車したまま受け渡しすることで、さらに利便性の向上と感染リスクの低減の効果があつたと考えます。

〔館内 OPAC〕

感染リスク低減のため使用できる OPAC を半減して運用していましたが、待たないと OPAC が使えないため窓口に予約を依頼したいという利用者が一定数おられました。OPAC 間に飛沫感染防止板を設置することで、12月16日より全台使用可能としました。



〔学習席・読書席〕

学習ルームについて、席数を減じ、サーキュレーターを設置して換気を行うことで7月10日から試行再開しました。



〔集会室の利用〕

南図書館ホール・集会室は、臨時休館中の対応として、電話での仮受付を実施。感染症対策で中止となったホール使用料については全額還付できるよう対応を行いました。

緊急事態宣言終了後は定員を減らし、使用団体に市のイベント開催時に必要な感染予防策を示し、再開しています。

また、感染予防にかかる換気の実施や昨今の気象状況の変化に対応し、ホールの冷暖房について期間外使用(有償)を可能としました。

〔対面朗読室の利用〕

対面朗読室を使用せず、集会室において感染防止対策を講じて実施しています。次年度からは、パソコンの導入により対面朗読室を使用して実施する予定です。

形式等を変更して実施した行事・イベント等

紙上おはなし会として、ボランティア2団体がそれぞれ作成した絵本等の紹介リストを配布及び掲示、図書館ホームページやTwitterで公開しました。(7月、9月、12月に「紙上ぴよぴよおはなしかい」「紙上おはなし会」として実施)

おはなし会等についてはボランティアと調整し、時間の短縮、換気、定員の削減、連絡先の把握等、市のイベント開催制限に従って9月5日より再開しています。



間隔をあけて座ってもらうため、おはなし室にマーカーとなるイラストを設置

令和3年度に向けてのボランティアとの打ち合わせについて、Web 会議システムを使用し、リモート形式で実施。分館との会議についてもチャットシステムを使用してリモート形式で実施しています。

令和2年度 各図書館の取組状況 (北区)

今年度の目標	
新しい生活様式に対応した図書館サービスを展開し、子どもたちの読書習慣の向上に重点的に取り組みます。	
1. ボランティア活動推進のため、ステップアップ講座を開催します。参加目標人数は50人。	
2. 定例のブックフェアだけでなく、ミニブックフェアを随時開催します。目標30回。	

定量的指標	全体	区民千人当たり
貸出点数	317,520 点	1,988 点
予約点数	17,552 点	110 点
レファレンス受付件数	3,747 件	23.5 件
協力貸出点数(借受)	316 点	2 点
うち大阪府立図書館以外からの借受	306 点	2 点

*北区人口 159,716 人

(令和2年4月1日現在)

*数値は令和2年12月末

取組結果	
2.	<p>堺市立図書館として、初めてリモート形式によるボランティアステップアップ講座を実施し、48人が受講しました。新型コロナウイルス感染症の影響で外出をためらう人が多いなか、ICTを活用した新たな取り組みとなりました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>ボランティアステップアップ講座 絵本の“絵”をよむ ～絵とことばから考える絵本～</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>かいじゅうたちのいるところ モーリス・センダック 著 じんぐうてん 訳</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ミニブックフェア</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図書館からの挑戦状 「きみは、おもしろい本を借りることができるのか」</p> </div> </div>
3.	<p>ブックフェアを16回、ミニブックフェアを19回、計35回実施しました。(令和2年12月末)</p> <p>また、北図書館からの挑戦状「きみは、おもしろい本を借りることができるのか」を開催し、約100冊貸出しました。これは、英字新聞に包んだ本を展示して、ひとこと紹介文をヒントに借りてもらうというものです。</p>
3.	<p>学校へ 7,739 冊(令和2年12月末)団体貸出を行い、子どもたちの読書習慣の向上に努めました。</p>

新型コロナウイルス影響の各館の状況

〔予約資料の貸出〕

臨時休館中、通常の3倍量分の予約取置資料があり、置き場が不足したため、長机やブックトラックを使用しました。それでも置ききれない分は、コンテナボックスを組み合わせて仮置きしました。

5/17～24の期間、感染対策を実施したうえで、会議室にて予約資料の受け渡しを行いました。電話で来館日時を申し込んだ利用者1,329人に対し、7日間で事前に貸出した予約資料6,015点を渡しました。



予約取置資料の仮置きの様子

館名	貸出点数
中央	4,082
中	2,232
東	2,967
西	2,397
南	1,882
北	6,015
美原	1,725



予約資料の受け渡し会場

〔返却資料の別置〕

当日に返却された資料は、返却処理をした後、ブックトラックで仮置きし、翌日に配架しています。北図書館は返却処理をする点数も多く、ブックトラックだけでは置ききれないため、コンテナボックスを使用して仮置きしています。

	返却数	1日あたり
5月	4,836	806
6月	27,645	1,106
7月	43,504	1,611
8月	43,256	7,209
9月	41,359	6,893
10月	43,187	7,198
11月	40,034	6,672
12月	36,467	6,078



〔利用状況〕

新型コロナウイルス感染症の影響で、貸出点数は前年度同時期の81%(317,520点)、貸出者数は前年度同時期の80%(75,272人)でした。子育て世代が多いため、1人で来館した利用者が家族分まで借りていくケースが多く、特に児童書の予約本も多く見受けられました。じゅうたんコーナーは、密を避けるためにコーンを設置した結果、1時間以内の滞在が浸透しました。

〔対面朗読〕

対面朗読室を使用せず、研修室において感染防止対策を講じて実施しています。次年度からは、パソコンの導入により対面朗読室を使用して実施する予定です。

形式等を変更して実施した行事・イベント等

1. ボランティアステップアップ講座をリモート形式で開催

「絵本の“絵”をよむ～絵とことばから考える絵本～」(講師:遠藤純氏)

堺市立図書館動画チャンネルで12月2日～12月25日公開

動画本数3本。48名受講。(再生回数:295回)

受講者にのみYouTube動画URLを通知

堺市電子申請システムで申込受付



武蔵川女子大学教育学部准教授。日本児童文学学会理事。専門領域は日本の児童文学・児童文化史。宮沢賢治研究。

2. 紙上おはなし会として、絵本等の紹介リストを3回発行

「このほんみてみて」(たんぽぽ絵本の会作成)

図書館ホームページで公開



3. 職員による「おはなし会」の開催

10月、11月、12月に実施

定員 7組(多数の場合は抽選)

開始前に、検温と消毒を行い、大阪コロナ追跡システムの登録

マスク着用で連絡先がわかるもの(図書館の貸出カードなど)を持参

実演者はマスクを着用し、ピンマイクを使用

会場は仕切りを解除、おはなしのへや・会議室の両方を使用

窓を開け、換気のためカーテンを閉めない



令和2年度 各図書館の取組状況 (美原区)

今年度の目標	
本館利用者のうち、コア的な存在である中高年層の利用者数減少に歯止めをかける。	
1. 中高年層利用者を意識した蔵書構成・配架を心掛ける。	
2. ミニブックフェアの開催等にあたり書庫本の活用を図る。	
新型コロナウイルス感染症リスク低減させるための各種図書館サービスの実施。	
1. 来館者に安全と安心感を与えるための館内施設の消毒等の実施。	
2. 非来館型サービスの拡充。	

定量的指標	全体	区民千人当たり
貸出点数	170,316 点	4,492 点
予約点数	7,929 点	209 点
レファレンス受付件数	3,462 件	91 件
協力貸出点数(借受)	117 点	3 点
うち大阪府立図書館以外からの借受	98 点	3 点

*美原区人口 37,915 人
(令和2年4月1日現在)
*数値は令和2年12月末

取組結果		
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中高年層の利用者の減少に歯止めかからず		
美原図書館の利用者は中高年の利用者の比率が圧倒的に高く、市内でも相対的に区内の高齢化が進んでおり、他館に比べ利用者の減少が顕著です。このため、今年度はコア的な利用者である中高年層の利用者の減少に歯止めをかける目標を定め、諸策を講じたところですが、結果として新型コロナウイルス感染症の影響もあり、貸出者数、貸出点数とも前年と比べ大きく減少しました。		
貸出者数・貸出点数比較		
	貸出者数	貸出点数
令和元年(A)	52,085	242,221
令和2年(B)	35,978	170,316
前年比(B/A) %	69.1	70.3
※いずれの数値も4月～12月まで		
4.	中高年層利用者を意識した蔵書構成・配架	
	◎3月に市内楽器店から譲渡された楽譜棚を活用し、大活字本、個人全集本などを収容し、空いたスペースに時代小説の文庫本を配架。	
	配架スペースに余裕ができ、高齢者にも取りやすくなり好評です。	
	◎中高年に人気のある有吉佐和子の著作などの更新に心掛けました。(146冊)	
5.	書庫本の活用	
	美原図書館の書庫所蔵本は比較的コンディションが良好なものも多く、また、古い本は中高年層に一定の需要があります。しかしながら、利用者が書庫に立ち入り、自由に本を選べず、端末検索操作も苦手な者も多いと考え、ブックフェア(期間を定め、一定のテーマを定めた特集本の展示)の際は、目標として展示総	



譲渡された元楽譜棚を活用

点数うち書庫本 20%以上を掲げ、6月～1月までの8ヶ月の書庫本の平均展示率は、24.2%でした。また、外山滋比古、半藤一利、安野光雅の追悼フェアなどのミニブックフェアにおいては、いずれも開催期間が短い中でも、展示した書庫本が多く貸し出されました。

感染症リスク低減のための各種図書館サービスの実施

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、臨時休館が終了し再開館後の5月下旬以降館内での感染を防止するため、職員一丸となり様々な感染症予防策を講じました。

1. 安全と安心感を与えるための館内施設の消毒等の実施

◎日々の取組…… 後述『新型コロナウイルス感染症検証』参照

◎コロナ禍での創立20周年記念事業

旧美原町立図書館が開館し、今年には創立20年に当たりますが、例年11月に開催の区民まつり、図書館まつりが中止となる中、感染症対策を徹底し創立20周年記念事業として本のリサイクルフェアなどのイベントを開催しました。



感染症対策を徹底して実施の本のリサイクルフェア



ボランティアグループの活動をパネルで展示



POP ふえすていばる作品展示

2. 非来館型サービスの拡充

◎美原図書館にて毎年実施の『美原図書館ティーンズ POP ふえすていばる』の作品応募、優秀作品の投票において、今年度は従前の来館による作品応募、優秀作品の投票に加え、Web上での作品募集、投票を始めました。農芸高校の生徒の皆さんから多数の応募をいただき、大変盛り上がりました。

令和2年度の応募・投票状況

	応募作品数	投票数
総数	252	72
うち Web 経由	3	14

◎児童サービスにおいて、『美原をしらべよう』シリーズとして12月に『黒姫山古墳のひみつ』を、また2月には『河内鋳物師のひみつ』を作成し、館内にリーフレットを配架するとともに図書館ホームページに掲載しました。



リーフレットと同一内容を図書館ホームページにも掲載

新型コロナウイルス影響の各館の状況

利用者への影響

前述のとおり、4～12月までの貸出者数、貸出点数とも前年の7割程度でした。臨時休館中の4月は皆減、5月は3割、6月は6割、7月以降は8～9割程度まで回復しました。この動きは、市立図書館合計とも似たような動向ですが、各月とも美原図書館は3ポイントほど市立図書館合計よりも低い数値となりました。特に12月の貸出者数では、市立図書館の合計が、前年を上回る101.2%に対し、美原図書館では91.6%にとどまりました。

貸出者数・貸出点数の前年比較

	美原図書館	市立図書館合計
貸出者数	69.1%	70.4%
貸出点数	70.3%	73.1%

日々の感染症対策への取組

館内入口などに、マスク着用、1時間程度の館内での滞在時間を依頼するポスターの掲示、ソファ、閲覧席などは密防止の観点から、平常時のおおよそ半数の使用に制限しました。

また、利用者に安心し、安全に図書館を利用して頂くため、日に3回(開館前、午後2回)、施設消毒、館内放送を実施しました。これら作業には、図書館職員が交代で従事し、確実な実施のため、予定表として使用しているホワイトボードに当番を示すマークを張り付けました。



当日の当番を示すマークをホワイトボードに貼り付けた

<形式等を変更して実施した行事・イベント等>

形式等を変更して実施した行事・イベント等

おはなし会等の図書館イベント

2度の緊急事態宣言中の期間を含め市の指示に従い原則として、大半の図書館内でのイベントは中止しました。

感染者数に落ち着きが見られた時期に実施のイベントについては、会場の変更、開催時間の短縮、参加者数を減らしたり、会場入室時の受付と受付時の体温測定などの感染症対策を講じ実施しました。



会場を変えたおはなし会と受付の様子

